

ヴァリアブルノズル

準定流量型可変噴霧ノズル

NV - 65B

取り扱い説明書

項目

1. 概要
2. 特長
3. 仕様
4. 構造及び機能
5. 使用方法
6. 注意事項

1. 概要

このヴァリアブルノズルは、消防隊の標準ノズルとして、又放水銃用として広く使用されています。その理由は簡単。消防隊員が消火防御にあたり適所に小移動して、火災規模、状況に応じた放水を行うことが出来るものとして創られたからです。カバーを回転することにより、放水量が0（ゼロ）から最大流量まで、無断に極めて細かく調整でき、取扱いが簡単です。

2. 特長

- 1) カバーは、耐衝撃性、エンジニアリング樹脂バンパーを採用しています。
- 2) 噴霧放水において、完全フォグ（フルコーン）を創り出すティース（歯）は、一体成型。
- 3) 目盛ダイヤルにより、放水パターンが明示されます。
- 4) 操作におけるしゅう動性を良くし、耐食性を増す為の表面処理を行っています。
- 5) 材質はアルミニウム合金で軽量、コンパクトです。

3. 仕様

- 1) 名称：ヴァリアブルノズル（準定流量型可変噴霧ノズル）
- 2) 型式：NV - 65B
- 3) 放水パターン：棒状、噴霧（拡散角度：100°）
- 4) ノズル流量：20mm、23mm（ストレートノズル相当口径）の2モデル
- 5) 寸法／重量：L = 150mm / W = 0.7kg
- 6) 接続口：65 ノズルチップネジ（JIS B9913）

4. 構造及び機能

1) 構造

ヴァリアブルノズルは図1に示す様に、構成されています。

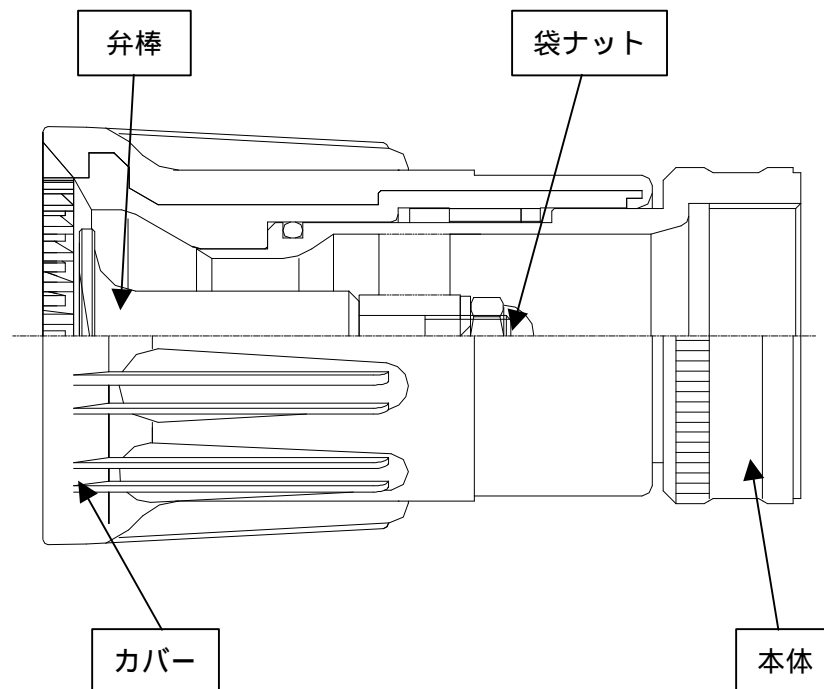
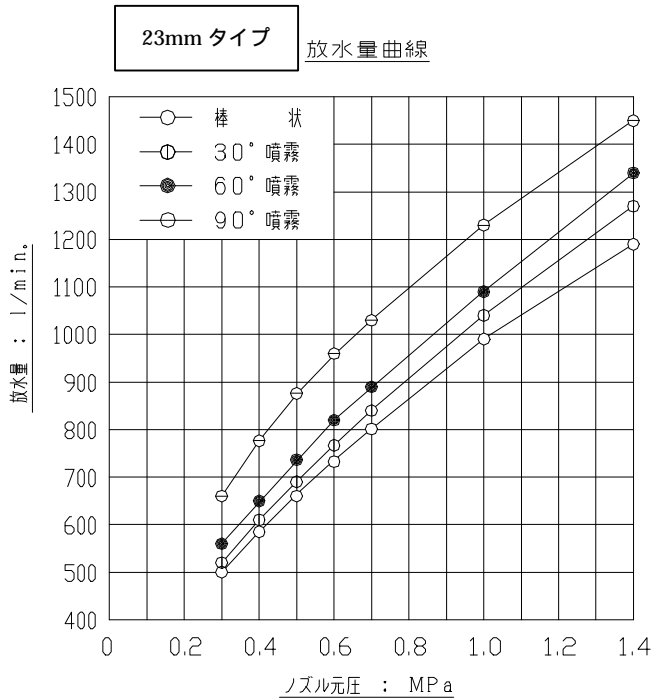
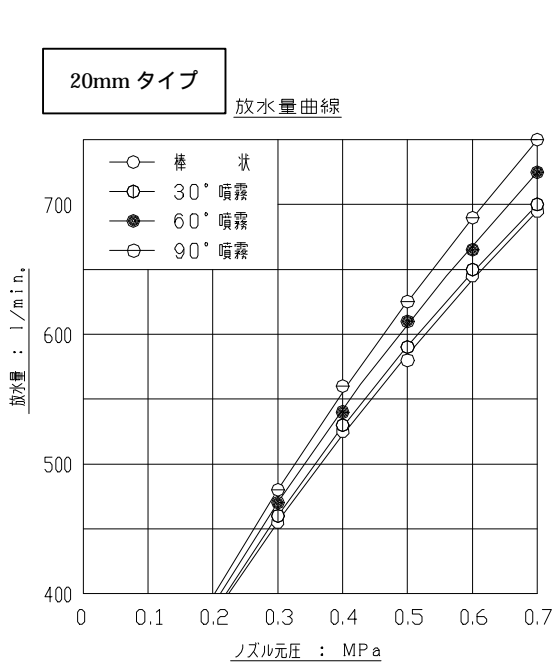
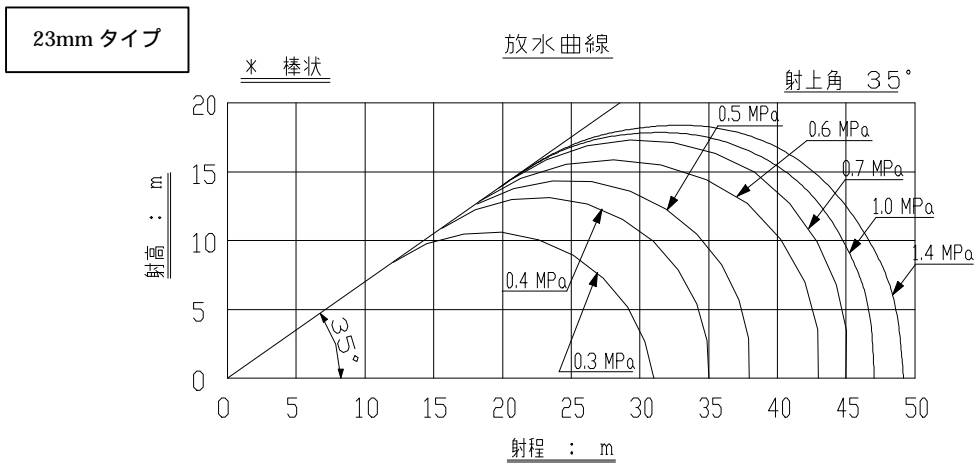
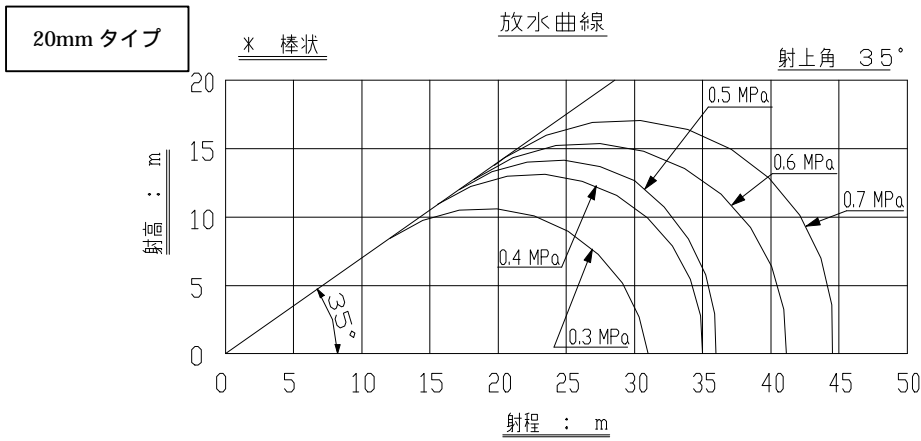


図1

2) 機能

1. カバーを時計方向（水の入口から見て）に回すと、ストレート（棒状）放水となり最後は閉そくします。
2. カバーを反時計方向に回せば、フォグ（噴霧）放水となり最大拡がりとなります。尚、最大拡散角度は約100°です。

3) 性能



5. 使用方法

- 1) 放水パターンの切替は、カバーを回転することにより可能です。{ 4.2 } 参照
- 2) 放水量は、噴霧面積と圧力に比例しますが、圧力が一定の場合、噴霧の拡散角度が最大時 (100°) が最多となります。
- 3) 放水地点を変える時は、ノズルを閉そく状態にした後、移動して下さい。
- 4) ノズル口にゴミや石が引っかかった時は、取り除いてご使用下さい。

6. 注意事項

1) 保守・点検

1. ノズル外観に損傷、緩み等のないことを確認して下さい。
2. カバーを回して円滑に動き、放水パターンが全範囲に亘って調整出来ることを確認して下さい。
3. 弁棒に緩みがないことを確認して下さい。緩んでいる場合は袋ナットを必ず増し締めして下さい。



絶対に弁棒が緩んだままで使用しないで下さい。
緩んだままで使用されますと、放水中に弁棒が飛び出し、事故につながりかねませんので確実に締めなおして下さい。

4. 定期的に（最長6ヶ月に1度程度）次の箇所に注油して下さい。
 - (1) 本体とカバーをストローク最大状態にし、しゅう動部に潤滑油を少量注油して下さい。
 - (2) 本体とカバーのネジ部には、グリスが塗布されています。長期使用後にグリスを塗布する必要がある場合は、カバーを水の入口側にくる様に反時計方向に回してから内部の袋ナットを緩めて弁棒を本体から外し、グリスを塗布して下さい。



分解した製品は必ず元通りに組み込んで下さい。

2) 使用上の注意

ノズルを管鎗に装備する時は、ノズルが管鎗のパッキンに確実に当たるまで必ず締めて下さい。

放水パターンがストレートの位置にある時、ノズルからの反動力が最大になります。

ノズルを操作される方は、反動力の変化に対し、充分に対応出来る様に身構えて下さい。

使用後は清水で洗浄し、付着した土砂等を洗い流して下さい。

* 万一、不適切なご使用による事故等が発生しましても責任を負いかねます。